

下り過ぎと思いながら通ってきた悪路を登り返す気になれず、進み続ける。出会った人に現在位置を聞いてやっと戻る気になった。

道が荒れているがそのまま進む

折り返し戻る



ロープが張ってある所を3回通り過ぎました。登山道じゃないよって印だったんですね。この荒れ荒れの道……。めっちゃ歩きにくいです。心も荒れてきます。「これほんまに登山道!？」って何度もつぶやきながら歩いています。でも赤テープっぽいのはあるんですよ。

ここが天祥寺原? 笹だし……。とか思っていました。とにかく不安。風の音がすごくてますます心細くなります。「大丈夫」とつぶやきながら歩いています。メンタルだいぶ弱ってます。おかしいなあ、下りすぎやなあと思いつつも通ってきた悪路を登り返す気になれず、進み続けます。下から登ってきた人に「すみません、ここどこですか」と尋ねる私。「もう少し行くと竜源橋ですよ。天祥寺原!？だいぶ前に通り過ぎてるよ～」と教えていただきました。(HP参照)

道迷いの心理の不思議は「おかしいなあ、下りすぎやなあ」と思いつつも行動を止めることができない。何故ならば、「きっと何とかなる」という願望が生まれているからだ。現実を見つめるためにGPSで確認しなければいけない。しかし、冷静でない場合はGPSすら信じることができず、「機械の故障だ」という方もいる。まずは、現実を受け入れる。これが大切だ。